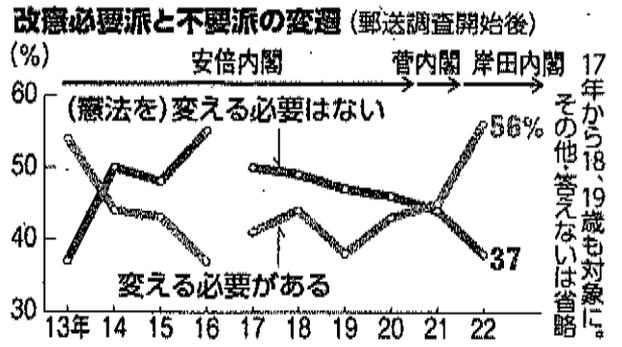


# 改憲「必要」56%

## 本社世論調査 13年以降で最多

3日の憲法記念日を前に、朝日新聞社は憲法を中心に全国世論調査（郵送）を実施した。いまの憲法を変える必要があるかを聞くと、「変える必要がある」が56%（昨年調査は45%）で、「変える必要はない」37%（同44%）を上回った。2013年に郵送調査を始めて以降、改憲必要派は最多。憲法第9条については「変えないほうがよい」59%（同61%）で、「変えるほうがよい」33%（同30%）を上回った。▼3面「緊急事態」対応は、6面「質問文や方法は異なるが、改憲必要派が不要派を



上回る傾向は1990年代から2010年代前半にかけて続いていた。14年から不要派が必要派を上回るようになり、昨年の調査では拮抗していた。

ロシアのウクライナ侵攻を受けて、日本と日本周辺にある国との間で戦争が起るかもしれない不安を以前より感じるようになったか聞くと、「感じるようになった」80%で、「とくに変わらない」19%を上回った。「感じるようになった」と答えたうち、いまの憲法を「変える必要がある」としたのは60%で、「変える必要はない」は34%だった。

調査は全国の有権者から3千人を選び、郵送法で3月中旬から4月下旬に実施。有効回答は1892で、回収率は63%だった。  
(北見英城)